

7月1日～7日は 「全国安全週間」

全国安全週間は昭和3年に初めて実施されました。

※主唱者：厚生労働省、中央労働災害防止協会

ヒヤリハットのご報告

4月にとった『ヒヤリハットアンケート』の集計結果を講習会の合間に行いました。集計の結果、様々なヒヤリハットがある中、最も多かったのは「荷崩れ(転倒/落下)」でした。認識不足、確認不足、不注意が原因です。「立てかけた物は倒れる、積み上げた物は崩れる、上に置いたものは下へ落ちる」という意識が大切です。ここで、今期のスローガンをもう一度、再確認しましょう!

慣れた作業にかくれた危険 いつも初心で 安全確認



6月4日の午後から東大阪で行われた講習会は『飛来落下足場講習会』。杉孝さんの“足場安全コンサルティング部”の皆さんにお越しいただきました。まず始めに『墜落・転落災害を防ぐために』というテーマでの座学です。実験映像、そしてとてもリアルな3D映像を見て、安全装備の重要性を再認識しました。頭と同じ固さである“カボチャ”にヘルメットをかぶせて上から鉄骨を落とす実験を見ていると、カボチャと分かっているにもかかわらず頭に違和感を感じるほど衝撃的な映像でした。

飛来落下足場講習会

座学の後は、屋外で実際に足場を使った

『危険体感訓練』を受けました。始めに腰に安全ベルトをつけての

“ぶら下がり体感”は実際にぶら下がってみて、苦しくない安全なベルトの取り付け位置を学びました。他には“安全带取付け位置による衝撃体感”。いつも使用している脚立などの“可搬式作業台の適正使用方法”。

そして、安全ブロックの“適正使用方法、落下危険体感”と、内容盛りだくさんの講習会でした。非常に分かりやすく、安全について教えてくださいました！安全に作業を行うには、いつも危険ととなり合わせであるという意識を持つ事が大切です。

杉孝さんにご協力いただきました。ありがとうございました!!



* 次回の大阪安全講習会予告 *
7月17日(木) 午後～

製作部工具安全講習会

総合電動工具メーカーの(株)マキタさんにお越し頂き、正しい使用方法などを教えていただきます。